

令和6年度 学校説明会資料

豊城中学校の教育

～知性・品性・感性あふるる豊城中～



令和6年4月27日

豊橋市豊城中学校 校長 河合成始

チーム豊城スタッフ紹介

豊城中ファミリー
38名+1.0



命名「しーろん」

豊城中マスコットキャラクター

本校の教育目標

自律と協調の精神を養い、

知徳体の調和のとれた生徒の育成



教育目標の上位概念を位置づける

2030年の社会で必要とされる資質や能力

自律人として

社会の中でよりよく生きていく生徒

～本校教育目標の上位概念～

▼自律人とは

- ・自分らしさを失わない人
- ・ブレない人
- ・自分で決められる人
- ・周囲の人のことを考えられる人
- ・相手の考えを察することができる人(共感力＝EQ)

企業の求める人材像

～特に期待する **資質** ベスト5～

日本経済団体連合会（経団連）新卒採用調査【2022.1.18】

- 1位 **主体性** 84%
- 2位 **チームワーク**
リーダーシップ・協調性 77%
- 3位 **実行力** 48%
- 4位 **学び続ける力** 36%
- 5位 **柔軟性** 18%

企業の求める人材像

～特に期待する **能力** ベスト5～

日本経済団体連合会（経団連）新卒採用調査【2022.1.18】

- 1位 **課題設定・解決能力** 80%
- 2位 **論理的思考力** 72%
- 3位 **創造力** 42%
- 4位 **傾聴力** 36%
- 5位 **発信力** 35%

本校の教育目標

自律と協調の精神を養い、

知徳体の調和のとれた生徒の育成



【手だて】

- ① 多様性を受け入れる
- ② 合意形成を図る

自律とは

- ◎ 自分で考えて自分をコントロールできる
- ◎ 自分の意志をもって、
自ら定めたルールに従って行動を選択できる

協調とは

- △ 互いに協力し合う → 依存し合うだけでは **NG**
- ◎ 利害や立場など異なる者どうしが協力し合う
→ 多様な価値観をもった人たちと合意を形成し、
ときに周囲を説得しながら一つの目標に向かう

【手だて】① 多様性を受け入れる

集団で生活する上で、物事の捉え方の基準にしたいこと

- ▶ 『人はみんな違うものだ』と認識する。
 - ▶ 「ものごとが自分の思いどおりにならない」ことや「仲間と対立が生じる」ことは、人が成長する過程において必要なこととして捉える。
- ▶ このように解釈することで、新たな発想が生まれやすくなる

【手だて】② 合意形成を図る

次のようなスキルを身につけたい

- ▶ 他者へ歩み寄る。
- ▶ 他者の考えを受け止める・受け入れる。
- ▶ コミュニケーション力を高める。
 - ・話す人～伝わってほしい、わかってほしい
 - ・聴く人～わかりたい、わかってあげたい
- ▶ 語彙力や想像力を高める。

【教育目標】 自律と協調の精神を養い、知・徳・体の調和のとれた生徒の育成
～ 知性・品性・感性あふるる豊城中 ～

【研究主題】 自らを客観視し、最適な学びを自己決定できる生徒の育成(研究二年目)
～世界(ひと・もの・こと)との関わり合いによる考えの再構築の繰り返しを通して～

自ら学ぶ意欲を高め

活用できる学力の育成

- 「聴く力と伝える力」を育成します
 - ▶他者意識をもって表現できるようにします。
 - ▶「学びに向かう三箇条」を生徒と教師が共有します。
 - ▶ゆとり着席/親和的な聴き方/工夫した伝え方
 - ▶安心して授業に臨める学習環境を整えます。
 - ▶授業のUI化(五つの指導技術・人的態度・教育態度)をひきつける、結びつける、方向づける、伝える(共有化)わかった・できた実感させる授業
- 自らの意欲を高められるように指導・支援します
 - ▶「わかる」楽しさ、「仲間と関わる」楽しさ、「身につけた知識を伝える」楽しさを体験できる場面をつくります。
 - ▶目的別コース選択制の少人数指導(数学・英語)を充実・発展します。
 - ▶「一問一答(Q&A)」を実施し、授業内で1問以上、笑える場面を演出します。

【目指す生徒の姿と備える力】

- ◇ 自ら考え行動できる生徒【知】
 - ① 自らよい行いをする力
 - ② 他者意識をもって表現する力
- ◇ 思いやりのある生徒【徳】
 - ① 自信の価値や存在意義を肯定的に捉える力
 - ② 人間関係が円滑になるコミュニケーション力
- ◇ おびり強い生徒【体】
 - ① 感情をコントロールして問題に立ち向かう力
 - ② 多様な他者と力を合わせてよりよいものを創出し続けようとする力

笑顔あふるる職員室

教職員の幸せ → 生徒への「無償の愛」

自尊心や利他心を育み
しなやかな心の醸成

- 「心を鍛え、成長の糧を得る」教育を推進します
 - ▶ポジティブ思考や肯定語を多用します。
 - ▶異なる存在や価値観を受け止める(入れる)土壌をつくります。
 - ▶思いやり(行動力)をするための心を育成します。
 - 生活三つの心づかい(時・場・元)を整頓化します
 - ▶時間を守る・美化(運動係)に努める・先に挨拶する
 - 困っている生徒に寄り添う指導を心がけます
 - ▶いじめ、不登校、発達障害の理解と未然防止に努め、学校組織として、すばやく誠実な対応に努めます。
 - ▶日々の職員や生徒ノート、個人面談等で生徒理解に努めます。

危機発生時の対応力育成

- 危機発生時の対応力(行動力)を育成します
 - ▶外部専門機関の指導や助言を学校教員にいかします。
 - ▶人災や地震、不審者対策を想定内に位置づけ、実効性の高い訓練を実施します。
 - ▶中学生は教職員の一員として、自他の命を守る意識をもつ
 - 「いじめ」に関する教育活動なし」を教職員の白い言葉とし、安全管理や安全指導に努めます

専門性の高い教職員集団の育成

- 教職員の個性を組み合わせ、スクワムを組んで教壇にあたります
 - ▶得意性をいかし、互いの授業観や教育観を可視化します。
 - ▶他者(教職員・生徒)を生かすプラス意識を心がけます。
- 全教職員で全生徒に関わるようにします
 - ▶美点観察を心がけ、生徒のよい面を伸ばします。
 - ▶適宜、保護者と対応(電話)するよう心がけます。
 - ▶学校教育(管理・指導)の原点を「生徒と教員」に置きます。

- 主体的に研修(研究と修業)に努め、自分磨きを始めます
 - ▶メタ認知及び課題解決能力を熟知して教員・領域指導に乗り込みます。
 - ▶指導技術の研究に粘りせず人間力を高める修業にも尽力します。
 - ▶生徒が学びたいような授業を創出できるように努めます。
 - ▶生徒の貢献で授業を潤滑できるように、研修を重ねていきます。
- タブレット端末の学習用具化を推進します

- 出たい言大切にして、保護者・地域社会の信頼を得るようにします
 - ▶発信者には、必ず声をかけていただきます。
 - ▶実害(悪事含む)への挨拶、電話の応対を誠実にを行います。
- 危機対応力を高め、チーム意識として臨みます
 - ▶書上(紙、図、表)のけがは、教員を支援するようにします。
 - ▶アレルギーとそれを育する生徒を理解し、適切な目で対応します。

本校ホームページに掲載

自ら学ぶ意欲を高め、活用できる学力の育成

○ 「聴く力と伝える力」を育成する

- ▶他者意識をもって表現できるようにする。
- ▶「学びに向かう三箇条」を生徒と教師が共有する。
*ゆとり着席 / 親和的な聴き方 / 工夫した伝え方
- ▶安心して授業に臨める学習環境を整える。

○ 自ら学ぶ意欲を高める

- ▶△わかる →わかるようになる
◎わからない→わかるようになる * 自己肯定感がいっそう高まる
- ▶目的別コース選択制指導(数学・英語)を充実・発展する。
- ▶一授業内で1回以上、笑いのある授業をつくる。

○ 学習用具の持ち帰りは、生徒判断に委ねる。

自尊心や利他心を育み、しなやかな心の醸成

- 「心を耕し、成長の種を蒔く」教育を推進する
 - ▶ **ポジティブ語や肯定語のシャワー**をかける。
 - ▶異なる存在や価値観を『受け止める・受け入れる』土壌をつくる。
 - ▶よい行いをする（行動化する）ための心を育成する。
- 生活三つの心づかい（時・場・礼）を常態化する
 - ▶時間を守る ▶美化（黙動清掃）の励行 ▶先に挨拶する
- **インターネットモラル教室** *7月1日（予定）
 - ▶「SNS上のトラブルは他人事ではない」と認識させる。
- **困っている生徒に寄り添う**
 - ▶『いじめ・不登校・発達障害』の理解と未然防止に努める。
 - ▶生徒との雑談や見とりから生徒情報を拾う。

危機発生時の対応力育成

- 危機発生時の対応力（行動力）を育成する
 - ▶外部専門機関の指導助言を学校生活（訓練等）にいかす。
 - ▶火災や地震、不審者を想定し、実効性の高い訓練を実施する。
 - ☛中学生は救助する側の一人として、自他の命を守る自覚をもつ
- 「いのちに優る教育活動なし」を教職員の合い言葉にして、日々の活動を展開する
 - ▶野外教育活動(1年) ▶職業体験学習(2年) ▶修学旅行(3年)
 - ☛自校や他校の経験を参考にして指導計画を作成する
- **食物アレルギーを共通理解する**
 - ▶食品の土産を学校で配ることや弁当の交換などは、控える。

専門性の高い教職員集団の育成

- 研修に努め、自分磨きに励む
 - ▶ **メタ認知** 及び **非認知能力**を教育活動に織り込む。
 - ▶ 指導技術の研究に終始せず、人間力を高める修養に尽力する。
 - ▶ 生徒が学びたくなるような授業を創出する。
 - 生徒の言動で授業が展開される
- 教職員の個性を組み合わせ、教育を展開する
 - ▶ **美点凝視**を心がけ、生徒のよい面を伸ばす。
 - ▶ 学校教育の原点を「生徒と教室」におく。
- 最悪の事態を想定した危機対応力を備える
 - ▶ 首上（頭、眼、耳、歯）のけがには、特に留意する。
 - ▶ アレルギーとそれを有する生徒理解に努める。

自律人を育む学習指導の研究【令和7年秋、本校で発表会】

【研究テーマ】

自らを客観視し、 最適な学びを自己決定できる生徒の育成

- 👉 昨年9月1日(公会堂)全校生徒に研究概要を説明し、ともに歩み続ける価値について確認し合った。
- 👉 教師力(授業, 指導技術, 生徒理解など)が向上することで、子どもの学力や社会性を更に高めていきたい。

◆本校教育や学習指導研究を貫くキーワード◆

『非認知能力』 『メタ認知』

・・・このあとで、花井研究主任が研究について説明します。

日々の学校生活での生徒への関わり方

『自律』を促すために

① 自分自身を客観的に捉えるスキルを身につける *メタ認知

(例) 「どうしたの」、「どんな状態なの」、「なにを困っているの」

→生徒の現状を把握する

② 自己決定できるようにする

(例) 「どうしたの」…答えが返ってこない場合は、選択肢を示す

→自分の考えを整理させる

(例) 「自分でできそうなことは何かありますか」…自己決定を促す

→しだいに自分の行動を自分で決められるようになる

日々の学校生活での生徒への関わり方

『自律』を促すために

① 自分自身を客観的に捉えるスキルを身につける *メタ認知

② 自己決定できるようにする → ①と②を繰り返す、

③ 教師支援

(例) 「先生は、なにを手伝えればいい」

「先生は、どんなことをしてあげればいい」

→生徒の失敗やトラブルに関わるが、介入しすぎない

▼次の二つの事案については、すぐに介入する

● 命に関わる危険な事案

● 人権に反する事案(いじめ、悪口、誹謗中傷など)

国語科の学習(3年生)

1 授業について(目標◆教科担任としての願い)

- ① 日常生活で困らないための学習の仕上げをしましょう。これまでに学習したことがこれからのコミュニケーションに大きく影響します。
 - ② 論理的に考える力や友達の考えや教科書の文章に深く共感したり、豊かに想像したりする力を身につけましょう。
 - ③ なんのために言葉が存在するのか。言葉があることでどんな便利なことがあるのかということについて考えてみましょう。
 - ④ 読書をして、自分に生かせるようにしましょう。
- ◆ 中学卒業後の進路で困らないための学習をしてください。「中学校の頃はテストの点数が良かったのに……」と来年のゴールデンウィーク頃に嘆く人が多くいます。中学校でのことだけを意識しているとこのような現象が起こります。
- 高校では中学校で学習したことは「知っている」と思っていることを忘れずに授業に取り

4月 授業ガイダンス資料(シラバス)

※各教科シラバスを生徒へ配付済み

2 学習の進め方

- ① 漢字マスターをどんどん進めましょう。*言葉を知る、漢字を覚える、文章の中で使えるようにすることが目的です。
- ② 教科書の文章を繰り返し読み、「すらすら音読」ができるようにしましょう。
- ③ 教科書の文章のわからない言葉の意味を辞書や参考書などで調べましょう。できれば使ってみましょう。
- ④ 教科書の「学習のてびき」の内容について、自分の考えをまとめてみましょう。
- ⑤ 文章を読む授業では、教科書の「目標」について、考えたことや疑問をまとめておきましょう。

3 学習内容(予定)

月	内 容	月	内 容
4	<p>▼授業ガイダンス【シラバス、ノートの書き方等、配付】</p> <p>○世界はうつくしいと(詩)</p> <p>1 深まる学びへ</p> <p>・握手(小説)</p> <p>[聞く]評価しながら聞く</p>	10	<p>漢字2 漢字の造りかた ●<u>単元テスト5(教頭)</u></p> <p>5 自らの考えを</p> <p>人工知能との未来(論説)</p> <p>人間と人工知能と創造性(論説)</p> <p>多角的に分析して書こう—読得力のある批評文を書く</p> <p>○行書を探めよう「創造」</p> <p>○行書と仮名を調和させて書こう「美しい自然」</p>
5	<p>・学びて時に之を習ふ—「論語」から(漢文・解説) ●<u>単元テスト1(握手)</u></p> <p>・情報整理のレッスン「情報の信頼性」</p> <p>・文章の種類を選んで書こう—修学旅行記を編集する</p> <p>漢字1 熟語の読み方</p> <p>2 視野を広げて</p> <p>具体化・抽象化(思考のレッスン) ●<u>単元テスト2(論語)</u></p>	11	<p>[議論]話し合いを効果的に進める</p> <p>合意形成に向けて話し合おう—課題解決のために会議を開く</p> <p>音読を楽しもう 初恋(詩) ●<u>単元テスト6(人工知能と未来)</u></p> <p>6 いにしへの心を受け継ぐ</p> <p>和歌の世界(古典・解説)</p> <p>古今和歌集 仮名序(古文)</p> <p>君待つと—万葉・古今・新古今(古文)</p> <p style="text-align: center;">◎<u>期末テスト</u></p>
6	<p>作られた「物語」を超えて(論説)</p> <p>リオの伝説のスピーチ(資料)</p> <p>説得力のある構成を考えよう(スピーチで社会に思いを届ける)</p> <p>文法のへの扉1</p> <p>○情報社会を生きる ●<u>単元テスト3(作られた物語)</u></p> <p>実用的な文章を読もう</p> <p>報道文を比較して読もう ◎<u>期末テスト</u></p>	12	<p>夏草—「おくのほそ道」から(古文)</p> <p>古典名句・名言集(古文・漢文) ●<u>単元テスト7(君待つと)</u></p> <p>7 価値を生み出す</p> <p>誰かの代わりに(論説)</p> <p>情報を読み取って文章を書こう—グラフを基に小論文を書く</p> <p>漢字3 漢字のまとめ</p> <p>○読書に親しむ</p> <p>本は世界への扉 ●<u>単元テスト8(おくのほそ道)</u></p>
7	<p>3 言葉とともに</p> <p>俳句の可能性、俳句を味わおう</p> <p>言葉を選ぼう(もっと「伝える」表現を旨として)</p> <p>言葉1 漢語・和語・外来語</p> <p>○読書生活を豊かに</p> <p>読書を楽しむ</p> <p>「私の一冊」を探しにいこう(読書) ●<u>単元テスト4(俳句の可能性)</u></p>	1	<p>8 未来へ向かって</p> <p>温かいスープ(随筆) ●<u>単元テスト9(誰かの代わりに)</u></p> <p>●<u>単元テスト9(温かいスープ)</u></p> <p>わたしを束ねないで(詩)</p> <p style="text-align: center;">◎<u>期末テスト</u></p>
9	<p>4 状況の中で</p> <p>挨拶—原爆の写真によせて(詩)</p> <p>故郷(小説)</p> <p>聞き上手になる(質問で相手の思いに迫る)</p> <p>[推敲]論理の展開を整える</p> <p>言葉2 慣用句・ことわざ・故事成語</p>	2	<p>三年間の歩みを振り返ろう—冊子にまとめて、発表会をする</p> <p>学習を振り返ろう</p>
		3	

評価について

★提出物 → 評価するが、評定の素点には加えない

評価観点(身につける資質)	評価の内容	評価方法
① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・学習を通して覚えたこと(漢字や語句、文法の知識、文法史、言葉の使い方、古典、情報の集め方、書写の技能) ・今までに知っている知識と関わらせて他の授業や生活にいかせるところを見つけられたか 	<ul style="list-style-type: none"> ・書写 ・単元テスト、定期テスト ・授業ノートの内容
② 思考、判断、表現	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の「目標」に書かれていることについて理解できたか 	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き取りテスト、スピーチ、パフォーマンス課題 ・話し合いの様子や内容、話し合いの技術
② A 話すこと、聞くこと		
② B 書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・学習のめあてを解決するために必要な力が身についたか 	<ul style="list-style-type: none"> ・作文やレポート(プリント) 授業ノートの内容
② C 読むこと		<ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト、定期テスト(話し方や聞き方)
③ 主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の進め方について試行錯誤しながら自分の能力を高めようとしているか ・自分の能力を高めるためにねばり強く取り組んでいるか 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に臨む態度(発言、傾聴、振り返りの内容) ・グループディスカッションやグループワークの様子 ・授業ノートの書き方(自分の考えをよりよいものにしようとしているか) ・ワークやプリント、レビューシートの内容

※書くよりも、自分の言葉で考えを伝えられるようにしましょう。

テストについて

- ① 小テスト
- ② 単元テスト
- ③ 期末テスト【各学期】
- ④ 実力テスト
- ⑤ 各種コンクール…必要に応じて実施する

勉強の目的は・・・

できなかったこと

わからなかったこと



できるようになる

わかるようになる

テストについて (実施時間帯)

① 小テスト (授業内)

- ・ 基礎的内容の定着確認や前時を復習する

② 単元テスト (特設または同一日授業内)

- ・ 自作 or 自作+業者T → 授業内容とリンクする
- ・ 学習のまとめ (単元) 終了時に定着度を確認する
→ レビューシートで学び直せる機会をつくる【主体性】

【生徒の声】

- ◎ 定期的に行われるので、習ったことを忘れにくい。
- ◎ 範囲が狭いので、勉強しようと前向きに取り組める。
- ◎ 期末テスト前に単元テストを復習 (学び直し) に使えるのはよい。

テストについて (実施時間帯)

③ 定期テスト (特設) ▼ 各学期1回

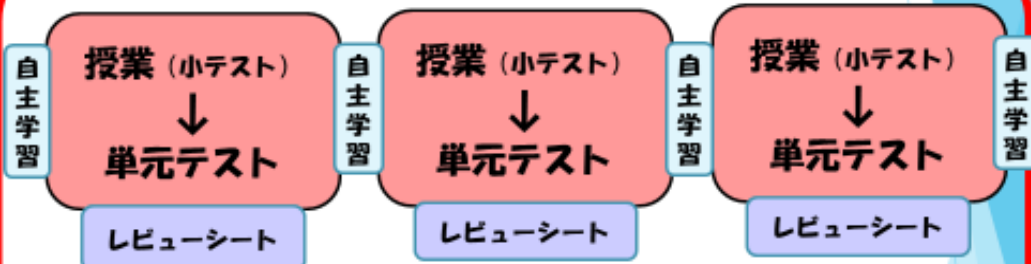
- ・ 各学期、授業内容の定着度を確認する
- ・ 単元テストの内容も含む → 生徒が学び直す機会にもなる

④ 実力テスト (特設) ▼ 年2回 ★ 評定には反映しない

- ・ 生徒が 自身の実力を試す (確認する)
→ わかる (わからない) を認識して、学習を調整する
- ・ 教師が 生徒の学習理解度を把握する
→ 自身の授業を検証し、以後の指導・支援にいかす

『学びのサイクル』

自分の学習方法
確認と修正・調整



期末テスト (5科)

実力テスト (5科: 国・数・社・理・英)

4技能教科 (音楽、美術、技術・家庭科、保健体育) …期末テスト週間前にテストを行う

▼▼本館の大規模改修工事について【お知らせ】

- ・令和6年9月頃
 - ・プレハブ(運動場西側)への引っ越し完了
 - ・工事開始
- ・令和7年8月頃
 - ・竣工(予定)

一年間よろしくお願いいたします

・・・引き続き、『学習指導の研究』について、
花井研究主任から説明いたします。(10分)

本日の学校説明資料(スライド)を本校ホームページに掲載します。

・・・ご覧いただければ幸いです。